

教 教育史

History of Education

ITO Jun

伊藤 循

科目ナンバリング：USE-1-151-05/UTL-1-301-02

■授業の目的及び到達目標

直接的には免許法の科目のうちの「教育の基礎理論に関する科目」の単位修得を目的とする。同時に、教育の歴史と思想を学ぶことを通して、今日の日本の教育の全体像を把握し、更に未来社会を展望する教育の在り方を探ることを目的とする。最終的には現場での教育活動に必要な教育史の知識の獲得を到達目標とする。

■授業計画

- 1 はじめに、「西洋古代・中世の教育」
 - 1 オリエンテーションと自己紹介、1 教育の基本概念・理念 2 古代ギリシャの教育、3 古代ローマの教育、4 「中世キリスト教と教育」、5 「ルネッサンス・宗教改革と教育」。これらについて考える。
- 2 「17・18世紀の教育」
 - 1 実学主義の教育、2 コメニウス、3 絶対主義体制と教育、4 ロック、5 ルソー、6 ペスタロッチ、7 カント。これらについて考える。
- 3 「市民革命・産業革命と教育」
 - 1 イギリス市民革命と教育、2 アメリカ独立革命と教育、3 フランス大革命と教育、4 イギリス産業革命と教育、5 諸国の産業革命と教育。これらについて考える。
- 4 「近代公教育制度の発達」
 - 1 ドイツの公教育、2 フランスの公教育、3 イギリスの公教育、4 アメリカの公教育、5 近代的公教育と国民国家。これらについて考える。
- 5 「19～20世紀の教育思想」
 - 1 フレーベル、2 ヘルバルト、3 スペンサー、4 ドイツ・フランスの教育思想、5 ロシアの教育思想。これらについて考える。
- 6 「新教育運動の展開」
 - 1 新教育運動と田園教育舎・パーカー、2 経験主義とデューイ、3 アメリカ新教育の展開、4 諸国の新教育、5 エッセンシャルイズムの動き。これらについて考える。
- 7 「教育の動向」(現代教育史へ)
 - 1 教育の民主化と諸国の教育改革、2 教育の国際化と国際連合、3 技術革新への対応、4 教育への提唱。これらについて考える。
- 8 日本古代・中世の教育、近世の教育I
 - 1 大陸文化の摂取 2 律令国家の教育機関 3 大学教育の隆盛と貴族の教養 3 中世の仏教と武家・庶民の教育、4 儒学と江戸幕府・諸藩の教育、5 庶民と寺子屋教育。これらについて考える。
- 9 「近世の教育II」、「近代教育の創始」
 - 1 諸学派と私塾、2 洋学の発達、3 明治政府と学制、4 教育令とその改正、5 教育の模索。これらについて考える。
- 10 「近代国家と義務教育・学校制度」
 - 1 近代国家の確立と教育、2 実業教育の展開、3 義務教育の確立と展開、4 学校教育制度の拡充 5 教育方法の模索。これらについて考える。
- 11 「自由教育運動と大正期の教育」
 - 1 自由教育運動とは、2 大正デモクラシーと新教育運動、3 芸術教育運動、4 高等教育の改革、5 諸学校の拡充と社会教育行政。これらについて考える。
- 12 「戦時体制下、戦後・現代の教育」
 - 1 教育改革と皇国民教育、2 教育制度の非常措置、3 戦後の教育改革、4 戦後の教育方法論、5 高度成長と教育の拡充、6 現代の教育改革。これらについて考える。
- 13 期末試験「講義のまとめと今後の展望」
 - 1 期末試験、1 これまでの内容の整理と確認、2 現代社会における教育の課題、3 講義のまとめ。

■授業の方法

本授業は、基本的には講義資料にもとづく講義形態を基本とするが、受講者の興味・関心を喚起するため、画像資料を使用する。また、授業計画ごとのテーマに関連して適宜発問し、討論形式を併用する。

■予習・復習

各回のテーマに対応する内容を、参考書や関係図書で予習しておくこと。講義内容を深め、発展的な考察を促すために、授業ごとにテーマに関連する課題レポートを提出することになるが、次回の授業でそれらをまとめて紹介・解説し、フィードバックする。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

定期試験は論文形式と択一式の問題を併用した形式で出題する（70%）。課題レポート（20%）、授業中の態度・発言等を参加点として加味する（10%）。課題レポートの配点が高いので、必ず提出するようにしたい。

■教科書・参考書

参考書；広岡義之『教育の制度と歴史』（ミネルヴァ書房、2007年）
山崎正和『文明としての教育』（新潮社、新潮新書、2007年）

■関連する科目

教育原理・教育心理は教育史に関連する教育者の教育理論・理念を深く理解するために重要な科目となる。